

加入光ファイバ接続料の算定方法について

第1回会合を踏まえたNTT東日本・NTT西日本への
追加質問事項に対する回答

2025年11月25日

1. 構成員質問回答 将来原価方式の算定期間等について

構成員追加質問

- 「消費者物価指数(総合)」を使うことについてどのように考えるか。(消費者物価指数は、急激に変化しないがタイムラグを通じて変化するので、激変を緩和する役割を持っていると思う。また、企業物価指数はデフレ局面では急激に落ちることがある)(橋本構成員)

当社の考え

- 企業物価指数は企業間取引における総合的な物価変動を表した指標、消費者物価指数は企業と一般消費者との間の取引における総合的な物価変動を表した指標であると認識しています。
- 当社の設備管理運営費には当社社員の人件費に加えて、多くの企業間取引コストが含まれており、企業物価指数の変動と同等程度の影響を受けると考えられるため、将来の乖離額を可能な限り縮小するという観点で、その予測には消費者物価指数ではなく、企業物価指数を用いることがより適切であると考えています。
- また、企業物価指数については、過去の数値を見ても一定のトレンドで推移しており、大きな変動は生じていないことや、将来原価方式の予測においては、3カ年平均の変動を用いることで短期的な変動による影響は平準化されるものと考えております。

2. 構成員質問回答 設備の耐用年数に係る検討について

構成員追加質問

耐用年数を35年と算定したことの根拠やその妥当性について詳しくご説明願いたい。(相田主査)

当社の考え

- 電柱の耐用年数については、2024年度末の電柱の固定資産データを用いた増減法による推計及び「材質・構造・用途・使用上の環境」、「技術の革新」、「経済的事項の変化による陳腐化の危険の程度」の観点から総合的な検証を行った結果、耐用年数を28年から35年に見直すこととしました。

構成員限り